



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
令和7（2025）年度 11月号

<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》

- ◇心 豊かな人
 - ◇自ら学ぶ人
 - ◇健 康な人
- 『自主自律』の精神

日本人ノーベル賞受賞の朗報

校長 立花 忠司

10月に入り恒例のノーベル賞受賞者が発表されました。今年は生理学・医学賞の坂口 志文氏と、化学賞の北川 進氏の2名の日本人が選ばれました。日本人として誇らしく、心からうれしく思います。

さて、ノーベル賞は、世界に貢献した人々に贈られる、たいへん名誉ある賞です。日本からもこれまでに多くの方が受賞しており、子どもたちにとっても夢や希望を与える存在です。

これまでにノーベル賞を受賞した日本人は全部で30名と1団体。昨年は核兵器廃絶への活動を長年にわたり行ってきた日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が平和賞を受賞したことは記憶に新しいと思います。

ノーベル賞を受賞した方々の功績で、現在、私たちの身近な生活で役に立っているものが多くあります。例えば、2014年に物理学賞を受賞した赤崎 勇氏・天野 浩氏・中村 修二氏の功績です。それまで発光ダイオード(LED)は赤色と緑色は実用化されていましたが、青色はなかなか実用化することができませんでした。しかし、1990年代に3名はこの青色のLEDを発明し、量産化に道筋を付けました。御存じの通り、光の三原色は赤・緑・青なので、青色のLEDができれば、すべての色をこの3種類のLEDを組み合わせることで表示することができます。彼らの功績は、私たちが今、使っているLED電球や、薄型のLED型テレビ（以前は厚みのあるブラウン管が使われていました）、携帯電話等のディスプレイなどで省エネや省スペース、長寿命化を達成し、生活をより豊かにするために広く使われています。

今年、受賞した坂口 志文氏と北川 進氏は、受賞の喜びとともに、これまでの苦労を語っていました。なかなか研究の成果が認められず、「そんなものは本当にあるのか」と批判されたことがあったと、思い出を語っていました。彼らはともに、自分が地道に研究してきたことにゆるぎない自信があり、研究をあきらめなかっただと言っています。粘り強く、最後まであきらめない気持ち、そして自分だけではなく、多くの人の協力によって研究が成し遂げられたとの謙虚さをもっていました。

お二人の功績も、今後、私たちの生活をより良くする、あるいは世界が抱えている課題を解決するためにきっと活用されることと思います。それと同時に、偉業を成し遂げる原動力は、最後まであきらめずに真理を探求する粘り強さにあることを改めて感じました。

今回のノーベル賞受賞を通じて、子どもたちが「学ぶことの楽しさ」や「努力することの価値」に気付くきっかけとなればと思います。

* ノーベル賞… スウェーデンの発明家アルフレッド・ノーベルが創設した120年以上の歴史をもつ賞。ノーベルはダイナマイト（爆薬）の発明者。「戦争のため」ではなく、「世界のためにすばらしいことをした人に賞をあげてほしい」とのノーベルの遺言に基づき、行われている。

創立 65 周年記念西宮祭音楽会

10月21日（火）に創立 65 周年記念西宮祭音楽会が例年通り、杉並公会堂で行われました。約 3 週間の練習期間の中で、各クラスの合唱にどんどん完成度が高まっていき、昨年度以上の感動を呼びました。ここに至るまでには各クラス様々なドラマがあったと思います。特に 3 年生は、学級閉鎖や修学旅行で思うように練習が進まず、時間が足りない！という声が聞こえてきました。

昨年度から始まった縦割り練習やその翌週の学年リハーサルでほかの学年やクラスの合唱を聞くことで良い刺激を受け、前向きに合唱の質を高めていました。結果として金賞をとれるのは学年で 1 クラス。それを目指して本気で取り組んだからこそ、嬉しかったり悔しかったりする気持ちや、やり切った達成感、満足感など、結果発表では様々な感情がうまれた瞬間でした。音楽は形には残りませんがここに至るまでの道のりや経験、そして本番での合唱は、実行委員長が最後に話したように、私たちの中で輝き続けることでしょう。

また、この感動を支えてくださった PTA の皆様、今年度も運営にご協力いただきありがとうございました。
(音楽会担当)

実行委員



1 年学年合唱



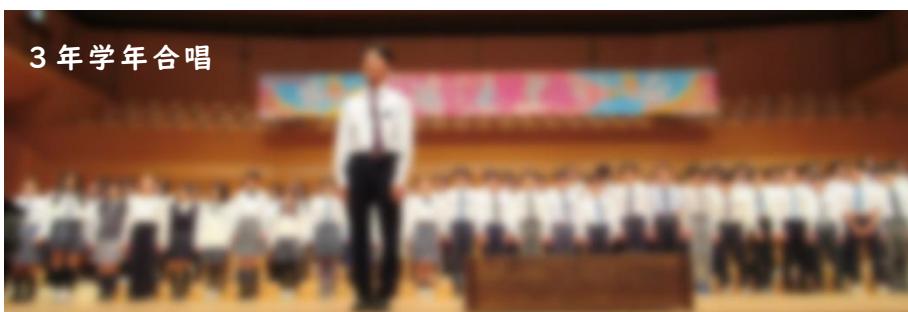
金賞
3 年 C 組 虹
2 年 A 組 あなたへ
1 年 A 組 大切なもの

指揮者賞
3 年 A 組 生徒 1 名

2 年学年合唱



3 年学年合唱



吹奏楽部演



1 年 A 組



2 年 A 組



3 年 C 組



指揮者賞

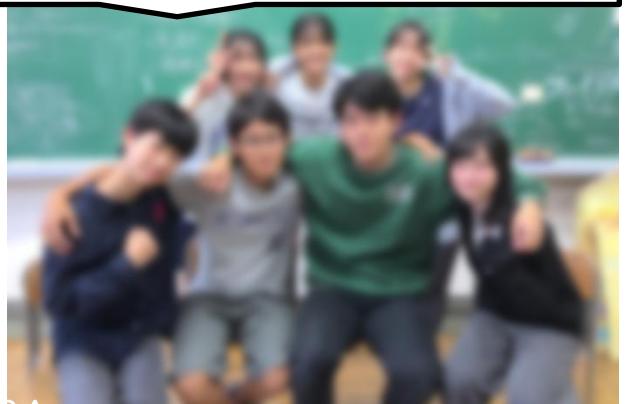


前期最後の中央議会

10月9日(木)に前期最後の中央議会が開かれました。各専門委員長から前期の活動内容を振り返り、引継ぎ内容や活動内容の報告がありました。また生活委員からの出された議題についても真剣に議論が重ねられました。積極的に意見を出し合い、メリットとデメリットを比較しながら自分事として前向きに話し合う姿には感心しました。

後期からは2年生が各専門委員の委員長を務めることになります。3年生の立派な姿を見てきた2年生なら、先輩たちが築き上げてきた伝統を受け継ぎ、さらなる飛躍に向けて西宮中学校を盛り上げてくれると期待しています。(生徒会担当)

第65期 新生徒会本部 始動します!



第61回ふれあい運動会 ボランティア

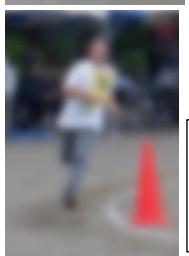
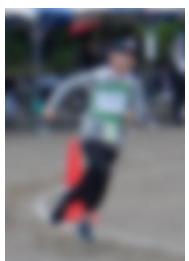
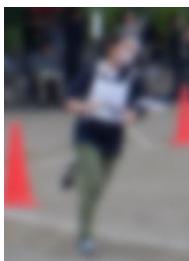
10月11日(土)朝9時、杉並第十小学校の体育館に中学生ボランティアが集合して、一日が始まりました。障がいがある方々とどのように接したらよいかの説明を聞き、初対面の中学生同士が仲良くなれるよう、「バースデーライン」を無言で作るレクをして1時間が経過しました。

10時からいよいよ「ふれあい運動会」が始まりました。事前に西宮中学校ボランティア部三役は、国旗・区旗等の掲揚を依頼されました。直前の打合せ・リハーサルを経て、開会式・閉会式で厳かに掲揚・降納することができ、立派に役目を果たすことができました。今にも雨が降り出しそうな天気で肌寒く、中止になることが心配でしたが、雨が強くなても「ふれあい運動会」は12時過ぎまで、元気いっぱいに行われました。「玉入れ」「パン取り競争」や「リレー」などで、障がいがある方々の競技補助をしたり、一緒に運動会の競技に取り組んだりと、運動会を楽しみながら盛り上げることができました。ボランティア部の生徒9人と個人で申し込んだ生徒1人の合計10人で、西宮中学校の生徒は参加しましたが、雨で濡れて体を冷やしても、笑顔を絶やさない姿勢は最後まで立派でした。

(ボランティア部担当)



音楽に合わせ厳かに西宮中のボランティア部三役が掲揚しました。



障がいがある方が半周、中学生が半周という順番で、西宮中からも色別対抗リレーに参加しました。

新生徒会役員引継ぎ式・認証式

10月10日（金）に、新生徒会役員引継ぎ式・認証式を行いました。旧生徒会が、新生徒会に対して、各自担当している仕事内容について、1つ1つ丁寧に教えていました。1年生は初めての生徒会なので緊張している様子でしたが、これから自分たちが担っていく仕事なので、真剣に耳を傾けていました。

引継ぎが無事に終わり、共に支え合いながら団結してきた旧生徒会役員で集合写真を撮りました。第64期の生徒会は、ペットボトルキャップの回収を呼び掛けたボランティア活動や他学年交流祭の企画など西宮中学校をよりよい学校にしていくために最大限の力を発揮し、大きく盛り上げてくれました。

第65期の新生徒会が、今後どのような活動をしてくれるのか、とても期待しております。

（生徒会担当）



部活動 大会結果報告

○女子バスケットボール部

杉並区新人大会シード権大会 準優勝

○女子バレー部

杉並区新人大会 第3位（ブロック大会ベスト12）

○女子テニス部 2年生部員1名

第51回東京都中学校新人テニス選手権大会（個人の部）ベスト32

《11月の主な行事予定》

- 1日（土）連合文化祭始
- 3日（月）文化の日 連合文化祭終
- 4日（火）おしゃべりウィーク始(1.2)
朝学習数終
- 5日（水）朝学習英始
アフタースクールスタディ始
口腔保健指導（1）
区特定課題調査（1）
- 10日（月）進路面談終(3)
おしゃべりウィーク終(1.2)
区特定課題調査（2）
- 11日（火）朝学習英終
アフタースクールスタディ終
- 12日（水）第3回定期考查始
- 14日（金）第3回定期考查終
- 17日（月）全校朝礼 安全指導
専門委員会
区特定課題調査（3）

- 18日（火）中央議会
- 19日（水）職員連絡会
- 21日（金）避難訓練
- 23日（日）勤労感謝の日
中学校英語スピーチングテスト（3）
- 24日（月）振替休日
- 25日（火）生徒会朝礼
- 29日（土）いのちの教育（1）
SDGsに関する学習（2）
こども地域活動促進事業

行事予定に変更がある場合は、totoru、または書面などで、速やかにご連絡いたします。